

PANN News Letter

Vol. 01

Printmaker's Association of Nishi Nippon

Aug 2002

● 会報を発行するにあたって ●

KYOTO版画展も今年で3年目を迎えることになりました。

これまで、参加作家が互いに意見を交換し合う場として、年に数回会議の場が設けられてきましたが、遠方に在住の作家が多いため、なかなか全体的に意見を交換し合う事はできませんでした。また、展覧会の開催において、出品作家の作品を知ることはできますが、それぞれの個人的な作家活動までも知る機会は今まで設けることができませんでした。

そこで、前回発送いたしました資料でもお知らせいたしましたように、今年度より年2回の会報を発行することになりました。

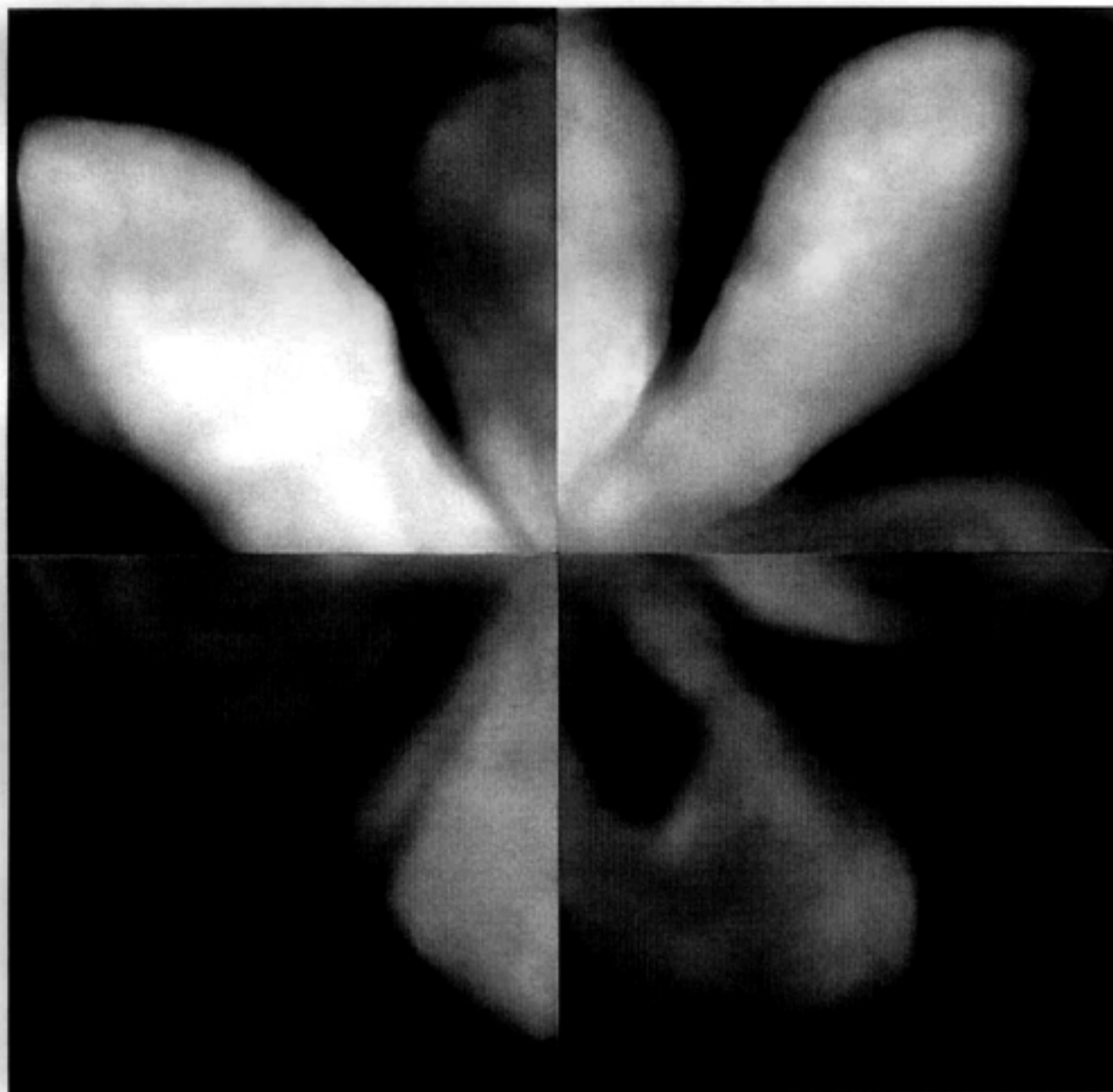
この会報では、出品作家個人の作家活動の情報や、KYOTO版画展についての意見や疑問点、また版画についての様々な情報などを広く募集し、掲載していきたいと考えております。

出品作家同士が、意見や情報の交換を通して互いに刺激し合い、より意識の高い展覧会を作っていくために、少しでも役立てばと考えております。

この会報は、皆様の参加なしには成り立ちません。どしどし情報をお寄せ下さい。

Fukumori
Yuta

福森 優太



「結晶-3」

180×180cm 油彩・帆布カンヴァス
2002年制作

C o n t e n t s

■ 会報を発行するにあたって

■ 作家紹介 福森優太さん

■ 中国展情報

中国展について ～張 珂～

■ 公募展案内

■ 掲示板

KYOTO版画200X

- ・ 京都版画展実行委員会会議
- ・ 作品研究会 ～佐久間嘉明 藤村嘉猛 山本桂右～
- ・ KYOTO版画2003展関連企画 ～坂爪 厚生～

■ 次回告知

■ 編集後記



作家
紹介

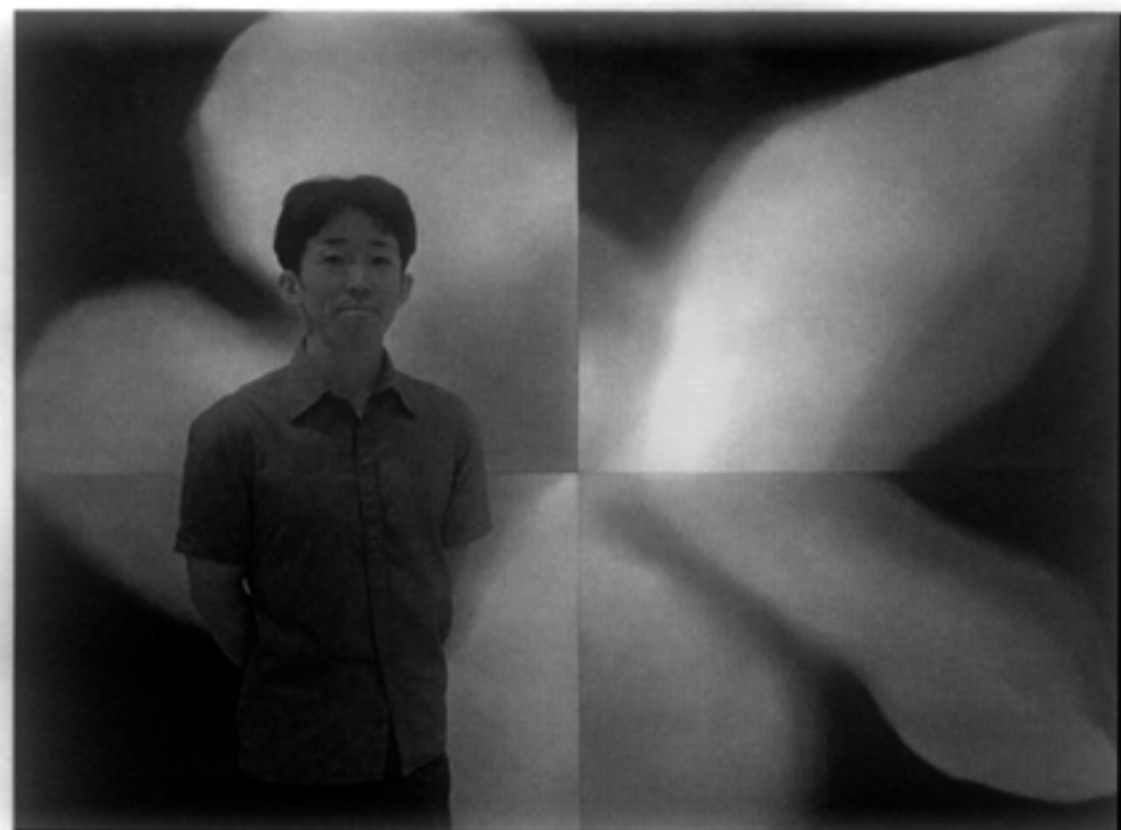
Fukumori Yuta

福森 優太 さん

編集スタッフが気になる作家を紹介していきます。今回は岡山県倉敷市在住の福森優太さんです。福森さんの作品から一見して感じられる静謐さと力強さは見る側にいつまでも印象的な感覚を残します。

スタッフが2002年5月9日～19日に倉敷市のGALLERY K (Tel 086-426-7171)にて開催されたく福森優太展> 会場で若手の作家がグループに所属する事についてどう考えるか、等についてお聞きしたところ後日回答をいただきました。

文中のインタビューはご本人によるものです。まさに自問自答!



某日某所にて

— 君は今までも何度かグループ形式の展覧会に参加してるけど、今の時代にグループで展示する事の意味をどう考えてるの?

「何らかの旗があってそこに集うのがグループ展だとすれば、それは単純に個人では成しにくい事、例えば自分が携わる表現領域に外的な閉息感や沈滞感があつたとしてその壁をどうぶっ壊そうか、という時一般的に考えて個人レベルの攻撃力とはワケが違う。とても効果的な方法。現代でも通用する普遍的な発表形態だと思う。それに結局は個人活動にもキチンと良い形で還元されるはずだから、両方の形態を状況に応じて選択していくのがベストじゃないのかな。個人的にそう思ってるけど。」

— 要はどんな旗かによるよね。そこでもう少し個人レベルの話しでも結構なんだけど、今までグループ形式の展覧会に実際に参加してみて何か感じた事は?

「なにより自分にはないものをたくさん持ってる、既にこの世界で何年も活動してきた先輩達と交流がもてた事は大きいね。まあ交流っていっても、ホント一方的に近いけど。貰ってばかり。感謝してます。」

— 具体的には?

「例えば展覧会の運営とか。会議なんかに同席すると、とにかくノウハウをたくさん吸収できる。その反面自分の未熟さを痛感するし(苦笑)」

— 君みたいに未熟な人間はどんどん外に出て行って鍛えるべきだね(笑)。では最後に、君自身の今後の展開について何かあれば一言。

「アカデミックな表現以外だと、特に地方に行けば行く程世間との温度差があるように感じる。色んな面でやりにくい。その体質が変わればもっと自分自身活動しやすくなるし、現在の中央主権的な流れではない新しい形での文化発信が実現できるんじゃないかと…アバウトな言い方だけど、その為の受け皿をつくれたら素晴らしい。だから今はそんな活動の場があれば参加したいし、少しでも力になればと考えてる。独り効果的な形式を模索しつつ練りつつ…ね。」

— 言うは易し。くれぐれも有言実行をお願いします(笑)

(福森優太)

プロフィール

1977年 岡山県倉敷市生まれ・在住

2002年 倉敷芸術科学大学大学院修了(高橋秀・田中孝ゼミ)
現在同大学非常勤講師
今夏、広島県知事の助成を受け渡米・研修予定

主な活動

1999年 「池田満寿夫記念芸術賞展」佳作賞/東京国際フォーラム、他
「第24回全国大学版画展」買上賞(第25・26回も同賞)
/町田市立国際版画美術館
「第50回県展」県展賞/岡山県立美術館

2000年 個展「すろおが463」(岡山)
「第8回浜松市美術館版画大賞展」奨励賞/浜松市美術館
日配親善ステージ「HAICHI in 五服座」舞台美術
「KYOTO版画2000展」新人賞/京都市美術館別館
NHK主催全国高専「RoBoCon2000」審査員

2001年 個展「田島美術店AOYAMA」(東京)
「第6回昭和シェル石油現代美術賞展」/目黒区美術館、他
「あおり版画トリエンナーレ2001」青森テレビ賞
/青森市民美術展示館
「KYOTO版画2001-日本・中国国際版画展」
/京都市美術館別館、他

2002年 個展「ギャラリーK」(倉敷)
広島・岡山県美術大学合同卒業制作選抜展
「HOPES 2002」大賞/ふくやま美術館(広島)



中国展情報

本年は日中国交正常化30周年にあたりますが、版画京都展実行委員会では日中国際版画展の巡回展を西安と南京で開催します。中国展担当の運営委員、張 珂さんに現在の状況について聞きました。

西安美術学院において2002年9月12日～17日の5日間開催される「日中当代版画作品展」「探索展」にむけて、昨年京都で開催した日中国際版画展に出品された中国側の90人90点の作品と共に、日本側の65名、90点の作品を6月20日に西安に送りました。9月には日本側の作家が西安を訪れる予定です。西安美術学院版画学科からの要請により版画教育、技法研究の一環として行われるシンポジウムにおいて日本人作家の講演会及び実演を行います。黒崎彰氏の講演に加え、坂爪厚生氏のメゾチント・斉藤修氏の木口木版・平木美鶴氏の水性木版の実演を企画しました。この見学訪問、講演会・実演の他に中国側では図録「日中当代国際版画名家作品集」（陝西美術出版社）の刊行が計画されています。

今回訪れる西安は、紀元前11世紀から唐代まで11王朝の都が置かれていた6000年の歴史を持つ、中国最古の都市のひとつです。漢代から「長安」と呼ばれ、最盛期の唐の時代には、シルクロードの東の起点として繁栄しました。民間美術が盛んで、人形や年画制作、切り絵や製紙などが古くから伝わっています。

また、2002年12月21日～27日には本展が南京に巡回開催され、北京・南京の訪問ツアーも行われます。北京ではスケールの大きな歴史遺産の数々を訪れます。荘厳な大舞台「故宮」、明の十三陵、ケタ違いに壮大な万里の長城をはじめ中国水印木版の伝統技法を継承する工房「栄宝齋」も訪ねます。

南京では14世紀の明代から木版画が繁栄し、17世紀に胡正言の十竹斎工房による多色木版の技法は、版画の歴史に大きく貢献しました。ツアーでは圧倒的な「中山陵」「旧城壁」「博物館」なども見学します。以上、版画にゆかりのある西安と南京における日中版画国際展の開催は日中両国にとって大変意義の深いことだと思います。

それから私は去年の「KYOTO版画2001-日中版画国際展」について、中国の版画芸術雑誌と美術報新聞に中国の作品と作家、日本の作品と作家を紹介する記事を書きました。日本で中国の作品の主な特徴である現実社会を表す社会リアリズムが注目されたことや日本現代版画の発展の流れ等についてです。日本側作家の作品写真も若干掲載されました。（張 珂）

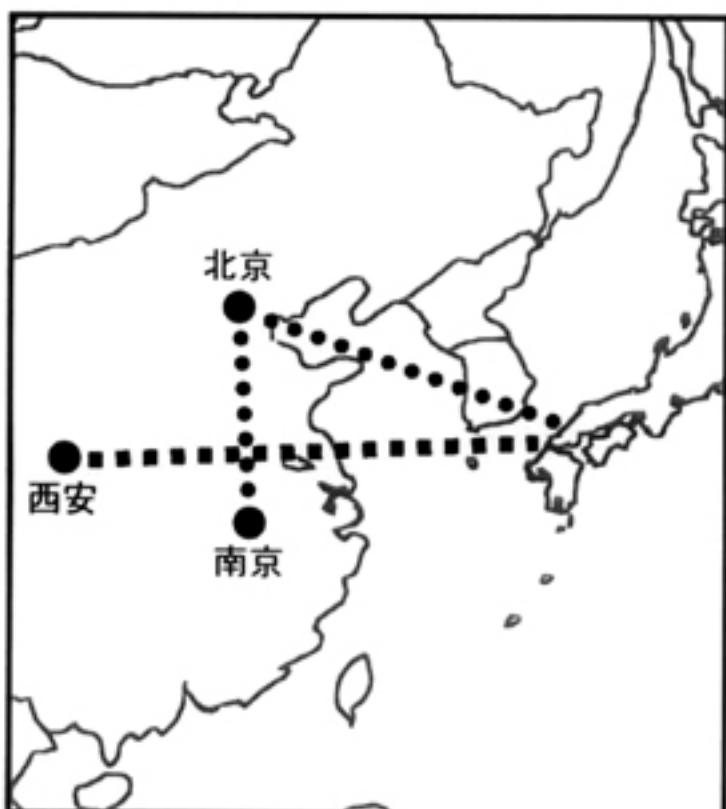
●中国訪問ツアー

現時点での西安訪問ツアー
参加者は出品者とその関係者を含め21名となっています。

●スケジュール

西安7日間
(2002年9月10日～16日)
北京、南京7日間
(2002年12月21日～27日)

お問い合わせは
版画京都展実行委員会
中国ツアー係
張 珂、山本 桂右まで。



公募展案内

(詳細を知りたい方は、応募要項をお取り寄せ下さい。)

山本鼎版画大賞展

＜作品規定＞
・平成13年以降に制作した作品で、受賞作品を除く ・一人2点まで
・額の大きさが110×100cm以内
＜出品料＞ ・1点につき3000円
＜審査員＞ ・北岡文雄 瀬木慎一 黒崎彰 野田哲也 遠藤 彰子
＜賞＞
・大賞1点 100万円(買い上げ)と賞状
・準大賞2点 30万円(買い上げ)と賞状
・奨励賞1点 10万円と賞状
・佳作 5点 5万円と賞状
＜応募期間＞ ・平成14年7月1日～8月31日まで
＜搬入期間＞ ・平成14年9月20日～9月22日
＜お問い合わせ先＞
〒386-0026 長野県上田市二の丸3-4上田市山本鼎記念館内
「山本鼎版画大賞展」係 tel・fax 0268-22-2693
URL <http://museum.unic.ueda.nagano.jp/kanae/>

THE 12TH SPACE INTERNATIONAL PRINT BIENNIAL, SEOUL

＜展覧会期日＞
・2002年11月5日～11月24日
＜作品規定＞
・2000年以降に制作された作品 ・紙サイズが110×80cm以内
・1人2点まで
＜応募・出品締め切り＞ ・2002年9月10日
＜お問い合わせ＞
THE 12TH SPACE INTERNATIONAL PRINT BIENNIAL, SEOUL219
Wonseo-dong, Jongno-gu, Seoul, 110-280Korea
〒 +82-2-747-2892 FAX +82-2-747-2894
e-mail: master@spaceprintbiennial.org
<http://www.spaceprintbiennial.org> (※応募要項をダウンロードできます。)

第3回大野城まどかぴあ版画ビエンナーレ展

＜展覧会期日＞ ・平成14年10月6日～10月31日
＜作品規定＞
・公募展未発表作に限る ・サイズは6号～30号以内
・1人3点まで(出品料1点につき2000円)
＜賞＞
・池田満寿夫賞 30万円 ・大野城市長賞 15万円
・大野城まどかぴあ賞 5万円 ・審査員特別賞 3万円
＜審査員＞ ・山本容子 佐藤陽子
＜作品搬入＞ ・平成14年9月15日～16日
＜お問い合わせ先＞
第3回大野城まどかぴあ版画ビエンナーレ展係
〒816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目3番1号 tel 092-586-4000

第9回浜松市美術館版画大賞展

＜展覧会期日＞ ・平成15年1月19日～2月16日
＜作品規定＞
・2年以内に制作した個人作品 ・1人2点以内
・サイズは額装の状態で180×180cm以内
＜出品料＞ ・2点まで3000円
＜審査員＞ ・井田照一 柳澤紀子
＜賞＞
・大賞 30万円(1点)
・SBS静岡放送賞 20万円(1点)
・静岡新聞社賞 20万円(1点)
・奨励賞 5万円(4点)
＜搬入期限＞
・委託搬入 平成14年11月1日～11月18日必着
・直接搬入 平成14年11月23日、24日
＜お問い合わせ＞
〒430-0947浜松市松城町100-1浜松市美術館事務局
〒 tel 053-454-6801 fax 053-454-6829

掲示板

会報にお寄せいただいた京都版画展の出品者の展覧会、活動情報です。詳細は会場等へお問い合わせください。

●大下 百華 Ohshita Yuka●

<個展>

会期:2002年10月18日(金)~29日(火)

場所:楓画廊(新潟市西堀通鶴5番町829-3 tel 025-228-7781)

1年ぶりの個展となります。表現の幅がすこしでも広がれば思考錯誤の日々が続いています。彫ること、描くことを通して多くのHEARTと繋がることのできたらと思っています。

木版とミクストメディアを展示する予定です。(大下 百華)

<木による版と彫刻 2人展 大下正之・大下百華>

会期: 2002年12月3日(火)~15日(日)

場所: 平安画廊(京都市中京区寺町通三条上ル西側 tel 075-231-0694)

「木から生まれる生命力」というテーマに基づいて、大下百華による木版画、大下正之による彫刻を展示します。(大下 百華)

<きつつき展>

会期: 2002年12月17日(火)~29日(日)

場所: 平安画廊(京都市中京区寺町通三条上ル西側 tel 075-231-0694)

●川端 千絵 Kawabata Chie●

<個展>

会期: 2002年11月19日(火)~24日(日)

場所: ギャラリーアーティスロン(京都市中京区三条通堀川西入る一筋目角 tel 075-841-0561)

油性木版と水性木版の混合技法による新作展です。是非ご覧下さい。(川端 千絵)

<京都府美術工芸新鋭選抜展>

会期: 2003年2月1日(土)~16日(日)月曜閉館

場所: 京都府京都文化博物館 4階特別展示室(京都市中京区高倉通三条上る tel 075-222-0888)

●角間 貴生 Kakuma Takao●

<角間貴生&田中玉実 二人展>

会期: 2003年1月27日(月)~2月1日(土)

場所: 養清堂画廊(東京都中央区銀座5-5-15 tel 03-3571-1312)

九州現代版画展のグループを母体にここ7年、韓国の現代版画家(主にソウル、プサン)との交流を続けています。今年(2002年)の6月18日から24日、プサンの石波美術館(東州大学付属美術館 韓国釜山広域市沙下区槐亭洞山15-1 tel051-200-3354)内で個展を開きました。『アート◎天文博物館』というタイトルのもと、縦30m横10mの展示スペースの壁面に木版画や銅版画などを貼ってSPACICなエネルギーを表現するインスタレーション展示です。折りも折り、日韓W杯の期間中なので、韓国パワーに負けない日本のヴァイタリティをアートの分野で示せたら…と頑張りました。(角間貴生)

●黒崎 彰 Kurosaki Akira●

<個展>

会期: 2002年10月7日(月)~19日(土)

場所: シロタ画廊(東京都中央区銀座7-10-8 tel 03-3572-7971)

<出版>黒崎 彰著『版画史解剖 <正倉院からゴーギャンへ>』/阿部出版
新刊9月発売予定 ¥2,500

●斉藤 修 Saitoh Osamu●

平成14年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、9月26日よりバリのアトリエ コントラボアンに銅板一版多色摺りの研修のため80日間滞在予定。

9月発行予定の版画芸術秋号で木口木版画の特集があり、小生の作品も掲載されます。この企画に合わせて京都ではギャラリー宮脇(tel 075-231-2321)にて柄沢 斎氏と小生の作品、また東京の不忍画廊(tel 03-3271-3810)でも同様の企画で陳列される予定です。(斉藤 修)

●坂爪 厚生 Sakazume Atsuo●

<個展>

会期: 2002年8月17日(土)~25日(日)

場所: 画廊翠樹(すいらん) (前橋市文京町1-47-1 tel 027-223-6311)

<個展>

会期: 2002年11月25日(月)~12月7日(土)

場所: シロタ画廊(東京都中央区銀座7-10-8 tel 03-3572-7971)

34年6ヶ月の長かった教師生活も、この3月31日を持って無事?定年を迎えることが出来ました。と言っても、こんどは特別嘱託として、おなじ巖町総合高校に週3日化学の教師として勤務します。少しは版画制作の時間が増えたかなと思いますが、結構いろいろ忙しくしています。今年は上記の2カ所で個展を予定しています。いうところの還暦、定年となんとなく一つの区切りの気持ちでこれまで制作したもののから選んで新作といっしょに展示したいと思っています。

また、9月の日中交流展での西安市訪問は楽しみです。現地でメゾチントのデモをすることになりましたが、上手く技法が伝えられればいいなと思っています。(坂爪厚生)

●坂本 恭子 Sakamoto Kyoko●

<個展>

会期: 2002年12月2日(月)~7日(土)

場所: Oギャラリーeyes(大阪市北区西天満4-10-18 石之ビル3F tel 06-6316-7703)

<比良美術館 夏期展 「心像的思考が語る現代世界」展>

会期: 2002年7月31日(水)~8月31日(土)火曜閉館

場所: 比良美術館 (滋賀県高島郡高島町鹿ヶ瀬岩倉75-1 tel 0740-37-0777)

<あおり版画大賞・あおり版画トリエンナーレ2001受賞者展>

会期: 2002年9月4日(水)~9日(月)

場所: 青森市民美術展示館 3・4階 (青森市新町2丁目7-1 tel 017-773-1770)

<現代版画NAGOYA「版の思考・版の手法2002展」>

会期: 2002年12月3日(火)~8日(日)

場所: 愛知県美術館ギャラリー 8階G1・2展示室(名古屋市東区東桜1-13-2 tel 052-971-5511)

●張 珂 Zhangke●

<個展>

会期: 2002年9月3日(火)~13日(金)

場所: galerie DECO ギャラリーデコ(名古屋市熱田区新尾頭3-1-17林ビル4F tel 052-681-8856)

●夏目 陽子 Natsume Yoko●

<夏目 陽子展 WORK1985~2002>

会期: 2002年8月20日(火)~9月21日(土)日・月・祝休日休館

場所: 尼信会館(尼崎市東桜木町3番地 tel 06-6413-1121)

●山本 早苗 Yamamoto Sanae●

<国際版画交流展 -ロシア・バルト三国・日本->

会期: 2002年7月30日(火)~9月1日(日)月曜休館

場所: 須坂版画美術館 (長野県須坂市大字野辺1386-8 tel 026-248-6633)

今回は小品展で PRINT MEETINGなどのイベントがメインの交流展となります。(山本 早苗)

KYOTO版画200X

●京都版画展実行委員会会議●

京都版画展を運営するにあたって実行委員会では京都展開催年には年間約4回の会議を開いています。今年の上半期には中国での巡回展準備のため会議と総会の計2回がありました。この会議は、実行委員(実行委員=出品者です)に関西の作家が多いためどうしても京都の会場を使うことになってしまいますが、毎回長崎や四国・中国地域、愛知、石川など遠方からの参加があり驚いています。そして4時間に及ぶ真剣な会議(お茶と、なぜかいつもおかし付き)のあとには真の交流、飲み会が待っています…たぶん。ぜひ一度会議にご参加ください。



●作品研究会●

8月に予定されていた作品研究会は、今年度は京都版画展が開催されないため変更となりました。2003年1月頃を予定しています。詳細は決定しだいお知らせします。運営に興味のある方はぜひ!ご参加ください。

作品研究会係 佐久間嘉明 藤村嘉猛 山本桂右

●KYOTO版画2003展関連企画●

京都版画2003年展関連企画として2003年2月に京都のギャラリー三条(tel 075-221-3341)で一週間展覧会をさせていただくことになりました。展示係としては、ギャラリーのスペースとの関係やKYOTO版画2001展での小品展示が好評だったことからミニチュア展を検討しています。今後画廊の小森さんと展示の仕方など具体的なことを決めたいと思っています。いい考えを係りまでお寄せ下さい。 展示係 坂爪 厚生

次回告知

第2号の会報の発行に向けて、次の情報を募集します。

- ・2003年3月~7月の展覧会情報
- ・国内、外の公募展情報
- ・その他版画に関することならなんでも。
- (例:プレス機買います、売ります/〜について購入先を教えてください/この技法を知りたい/〜地域でアトリエを探しています/搬入出アシスタント募集!などなど。)

会報担当:川端 千絵(尚、メールのみ坂本宛になっております。)

編集後記

梅雨明け宣言とともに、これでもか!といわんばかりの暑い夏の日が到来したまさにその頃、大阪のとある一室にて、会報の編集作業が行われました。ちょうどその日は、そこからほんの数キロのところで大掛かりな野外ライブが開催されており、音楽ファンでもある会報有志スタッフは、そちらに心を奪われながらもぐっとこらえて編集作業にあたりました。

記念すべき第一号ということですが、全くの手探り状態で作りました。まだまだ不備な点や改良点がたくさんあると思います。何かお気付きの点やご意見など、どんどんお寄せ下さい。また、この会報はあくまでも有志によって運営されております。どなたでも参加できます。我こそは!と思われる方は、いつでもご一報下さい。

